《交通弱者の事故防止》

《子ども・高齢者の横断に備え、「かもしれない運転」を》

- 停車中の車両の間から、小学生が横断してきた
- 左折する乗用車の陰から、高齢者が横断してきた
- バス停のバスの陰から、子ども・高齢者が横断してきた

《「死角」に隠れた、自転車等に備え、「かもしれない運転」を》

- ハンドル操作の前に、確認と減速
- 右左折時は、交差点の手前から確認
- 「歩道」を通過する時は、「歩道の手前」で、「一時停止」

そろそろ自転車が・・・自転車のふらつきや転倒に注意！
見かけたら距離を空けましょう

道路わきの・・・自転車、歩行者に注意しましょう

漫然運転、居眠りに注意しましょう **2時間走行15分休憩！**

構内事故・バック事故の根絶

《挟まれ・墜落・転落・下敷き 注意》

「運転中に考え事をしていた・・・」

信号のない交差点

歩行者をはね、骨盤骨折などの重傷を負わせた

女性教諭が減給3か月の懲戒処分
簡裁からは50万円の略式命令も

- ◇ 死亡事故の内、考え事や脇見などで前方をよく見ていなかった「ぼんやり運転」が約6割に達する◇
- ◇ 考え事などをしながらの、『ながら運転』は危険です◇

2025/4/10(木)

10月3日午後6時すぎ、札幌市で職場から帰宅するために自家用車を運転中、信号のない交差点に進入した際に、横断歩道を渡っていた歩行者をはね、骨盤骨折などのけがをさせたということで、女性教諭を減給3か月の懲戒処分を受けました。聞き取りに女性教諭は、「運転中に考え事をしていて、いつも通っている道ではない道を通っていた」と話しています。女性教諭はこの事故で、2025年1月に札幌簡易裁判所から罰金50万円の略式命令を受けていて、10日付で減給3か月の懲戒処分となりました。女性教諭は「被害者の方に対して申し訳ないと思っている」などと話しているということです。

午後5時 信号、横断歩道のない交差点

帰宅途中の乗用車にはねられ

横断中の77歳の女性が死亡

- ◇ 会社から帰宅途中、気のゆるみ、わき見運転は、厳禁です◇

2025/4/11(金)

9日午後5時ごろ、埼玉県の信号機や横断歩道のない市道交差点で、歩いて道路を横断していた女性(77)が乗用車にはねられ、全身を強く打ち搬送先の病院で死亡が確認されました。警察は、乗用車を運転していた男性(59)を現行犯逮捕しました。容疑を同過失致死に切り替えて調べている。乗用車の男性は帰宅途中だった。

深夜1時 「人がいるのに気づかなかった」 高齢男性が代行運転の軽自動車にはねられ死亡

信号や横断歩道がない、見通し良い直線の市道

- ◇ 夜間、早朝は、歩行者・自転車を見落としやすくなります◇
- ◇ 夜間、早朝、「人はいないだろう」と・・・漫然と運転することは危険です◇
- ◇ 夜間は、歩行者が見えづらくなるので、「ハイビーム」を活用しましょう◇

2025/4/12(土)

12日午前1時頃、福井県の信号や横断歩道がない、見通し良い直線の市道で、高齢男性が代行運転手の男性(40)が運転する軽自動車にはねられ病院に搬送されましたが、約50分後に死亡が確認されました。代行運転手の男性は客を迎えに行く途中でした。調べに対し、人がいるのに気付かなかったという旨の話をしている。